

令和5年3月19日

令和5年度 東京都高等学校春季卓球大会 兼 関東高等学校卓球大会東京都予選 要項

主催：東京都高等学校体育連盟卓球男子専門部

標記の大会を下記要項にて開催します。希望校は期日までにお申し込みください。

記

1. 期日・種目・会場

4月23日(日)	ダブルス	9:00～	大田桜台高校・多摩工科高校 明大明治高校・白鷗高校
29日(祝)	ダブルス決勝大会	9:00～	八王子市富士森体育館
30日(日)	学校対抗	9:00～	駒沢屋内球技場・八王子市富士森体育館 日野市市民の森ふれあいホール
5月3日(祝)	学校対抗決勝大会	9:00～	秋川体育館
4日(祝)	シングルス	9:00～	日野市市民の森ふれあいホール・秋川体育館 新宿スポーツセンター
5日(祝)	シングルス	9:00～	エスフォルタアリーナ八王子メイン 五日市ファインプラザ
6日(土)	シングルス決勝大会	13:00～	秋川体育館

2. 競技種目・参加数・代表数

- (1) 学校対抗 各校1 **上位7校が関東高等学校卓球大会代表**
- (2) シングルス 参加数制限なし **上位14名が関東高等学校卓球大会代表**
- (3) ダブルス 参加数制限なし **上位4組が関東高等学校卓球大会代表**

3. 競技規定 現行の日本卓球ルールと以下の規定を適用する。

- (1) 選手は(公財)日本卓球協会発行の令和5年度ゼッケンを背中につけること。
※ 年度当初、諸事情により(公財)日本卓球協会発行の令和5年度ゼッケンが間に合わない場合は、事情を申し出て許可を受けた場合に限り、選手の姓と所属校が明記された布製ゼッケンの着用を認める。
- (2) 日本卓球ルールで、特に留意すること。
 - ア. ラケット、正規のサービス及び促進ルールについて正しく理解しておくこと。
 - イ. 競技用ユニフォームは(公財)日本卓球協会公認マークの付いたものとする。
 - ※ 広告付きユニフォームは使用できない。
 - ウ. ラバーをラケット本体に貼る場合に使用する接着剤は、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして(公財)日本卓球協会が公認した接着剤のみとする。
 - エ. 接着剤の使用は、指定された場所のみで認める。

4. 競技方法

- (1) 全種目全試合11本5ゲームスマッチとする。
試合前のラケット交換は、台上で見せ合うようにする。試合前後の握手は行わない。
- (2) **学校対抗・ダブルスはベスト4決定戦から、シングルスはベスト8決定戦からタイムアウト制を適用する。**
- (3) 学校対抗は、次の方法で行う。
 - ア. **登録選手は4～8名とする。**ただし、試合日が異なる場合には異なる8名で出場することができる。
 - イ. 試合形式は4～6名でオーダーを組むことができる4シングルス1ダブルスで行う。試合順序は1番シングルス・2番シングルス・3番ダブルス・4番シングルス・5番シングルスを原則とする。
 - ウ. 外国籍選手は1試合につき1名が、シングルス・ダブルスを問わずに1回のみ出場できる。
 - エ. ダブルスに出場する選手はシングルスにも重複出場できるが、シングルの1・2番に出場した選手同士でダブルスを組むことはできない。また、シングルスは4人も異なる選手が出場しなければならない。
 - オ. 進行状況によってはシングルス4試合を先に行うこともあり得るが、この場合でもオーダーの組み方は上記「エ」の規定に従う。
 - カ. 勝敗は3試合先取で決する。
 - キ. 優勝決定戦までをトーナメント方式で行うほか、ベスト8の4校による敗者復活戦をトーナメント方式で

行い、1～8位を決定する。(3・4位決定戦、7・8位決定戦も行う。)

- (4) シングルスは、優勝決定戦までをトーナメント方式で行うほか、ベスト4の2名による3位決定戦、ベスト8の4名による5位～8位決定戦をトーナメント方式で行う。またベスト16の8名による敗者復活戦をトーナメント方式で行って代表を決定する。1～14位を決定する。
- (5) ダブルスは、優勝決定戦までをトーナメント方式で行うほか、ベスト4の2組による3位決定戦を行う。1～4位を決定する。
- (6) 表彰は各種目ともに3位までとする。
- (7) **カウンター(得点版)は決勝大会のみ使用する。**

5. 使用球及び使用卓球台

- (1) 使用球は、(公財)日本卓球協会公認プラスチック40mm白球とする。
- (2) 使用卓球台は、(公財)日本卓球協会公認台とする。

6. 参加資格

- (1) 令和5年度東京都高等学校体育連盟卓球男子専門部加盟登録済みの学校に在籍する、**令和5年度(公財)日本卓球協会登録済みの選手。**
- (2) 年齢は、平成16年(2004年)4月2日以降に出生した者とするが、出場は3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (3) チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。ただし、事前に学校単位で東京都高等学校体育連盟事務局に申請し許可を得ること。
- (4) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、東京都高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- (5) 上記(1)～(4)の要件を満たした上で、在学する学校長の許可を必要とする。

7. 参加申込

(1) 申込方法

必要事項をすべて記入した所定の申込用紙に**学校長許可印を受け**、(2)に従って提出する。

- (2) 申込締切・提出先 **※ 締切日以降の申し込みは一切受け付けない。**

4月16日(日)の白鷗高校での総会に持参するか、4月12日(水)必着で事務局(若井)宛に郵送。

郵便申込先(事務局)

〒111-0041 東京都台東区元浅草1-6-22 (都立白鷗高校内)

東京高体連卓球男子専門部事務局 若井 清孝 宛

8. 参加費 右の期限までに所定の口座に振り込むこと。振込期限: 4月14日(金)

学校対抗	1チーム	2,000円
ダブルス	1組	700円
シングルス	1人	400円

振込先口座 **ゆうちょ銀行 00180-2-155080**

※ 領収証の必要な学校には試合会場にて作成し発行する。ただし、振込確認ができていない領収証は発行できない。(振り込み確認には4～5日ほど必要)

※ 荒天等による中止・日程変更などの場合でも参加費の返金を行わない。

9. 感染症対策については別紙参照のこと

10. その他

・無観客試合のため、以下の者以外の上場は認めない。

学校対抗の部 生徒: 出場選手(4～8名)と審判要員部員2名

引率責任者: 1名(顧問教諭または引率を認められた部活動指導員)

監督: 1名(日本卓球協会役職者登録済みの教諭または部活動指導員または外部コーチ)

シングルス・ダブルスの部

生徒: 出場選手(シングルスで出場選手が1名の場合、決勝大会は練習相手1名可)

引率責任者: 1名(顧問教諭または引率を認められた部活動指導員)

監督: 1名(日本卓球協会役職者登録済みの教諭または部活動指導員または外部コーチ)

・**引率責任者のいないチーム・選手は委任状が必要。引率責任者は責任を持って選手の体調管理を行う。**

1 1. 関東高等学校卓球大会 期間・会場・競技種目・日程

(1) 期 間 令和5年6月2日(金)～6月4日(金)

(2) 会 場 6月2日(金): 墨田区総合体育館

〒130-0013 東京都墨田区錦糸4-15-1 電話03-3623-7273

※ 「錦糸町駅」下車 徒歩3分

6月3日(土)・4日(日): 東洋大学赤羽台キャンパス

〒115-8650 東京都北区赤羽台1-7-11 電話03-5924-2100

※ 「赤羽駅」下車 徒歩8分

(3) 競技種目 学校対抗・シングルス・ダブルス

(4) 日 程 監督・引率者会議 令和5年6月 2日(金) 13:30～

開会式 令和5年6月 2日(金) 15:00～

競技 令和5年6月 3日(土)～6月4日(日) 2日間

閉会式 令和5年6月 4日(日) 競技終了後

※ 本大会要項、宿泊要項等は後日、代表校に配布する。

卓球男子専門部事務局への連絡はメールでおこなうこと。

事務局 E-mail: tkktr_pinpon_ds@tkdts.net

感染症対策について

大会参加校が遵守する事項（引率責任者が指導を徹底すること）

- (1) 参加にあたっては、生徒・保護者から同意書（別紙）を得る事。必要事項を記入して各学校の顧問教諭（引率者）が大会当日に確認して大会終了後に学校長に提出。大会後の感染発生時に備えて各学校で1ヶ月保管する。
- (2) 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加校の責任において当該生徒の参加を見合わせる。
 - ア. 体調がよくない場合
（例：平熱を超える発熱・咳・咽頭痛・強いだるさ・息苦しさ・味覚嗅覚の異常などの症状がある場合）
 - イ. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ. 新型コロナウイルス陽性者との濃厚接触者である場合
 - エ. 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- (3) マスクは参加者が持参し、使用后全てのゴミとともにビニール袋に入れて持ち帰る。
（参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用する）
- (4) 消毒用アルコール等は参加校が用意し、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒や使用用具、観覧席の消毒を実施すること。手拭き用のタオル等は各自持参させる。
- (5) 他の参加者や役員等との距離（できるだけ2m以上）を確保する。
- (6) 大会中に大きな声で会話、応援等しない。
- (7) 競技前後のミーティング等においても、三つの密を避ける。
- (8) 感染防止のために主催者が決めた措置を遵守し、主催者の指示に従う。
- (9) 参加者が大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告する。
- (10) 当面の間、無観客で開催するため当日の入場に制限があることを保護者等に周知・徹底する。
- (11) 会場への移動等は参加校が責任をもって集団リスク（3密の条件）を避ける。